

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 14 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一
施策	18	生活環境の保全	関係課	総務課(環境政策室)	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
				1	生活排水の適正処理	町民 町内の生活環境
			2	公害防止対策の推進	町民 町内の生活環境	公害に対する意識を高める。公害が未然に防止される。
			3			
			4			
			5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	汚水処理人口普及率	%	実績値	72.7	73.3	75.5
			目標値		73.0	74.0	75.0	76.0	77.0	78.0
B	下水道普及率	%	実績値	46.2	46.2	47.1	47.3			
			目標値		46.4	46.7	47.0	47.3	47.7	48.0
C	水洗化率	%	実績値	83.9	84.5	83.4	83.5			
			目標値		84.0	84.2	84.4	84.6	84.8	85.0
D	利根川・赤谷川の水質(利根川/赤谷川)	mg/l	実績値	<0.5/<0.6	<0.8/<0.7	<0.8/<0.7	—			
			目標値		<0.5/<0.5	<0.5/<0.5	<0.5/<0.5	<0.5/<0.5	<0.5/<0.5	<0.5/<0.5
E	公害に関する苦情件数	件	実績値	41	41	38	39			
			目標値		35	35	35	35	35	35
F			実績値							
			目標値							

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A、B) 数値が高まれば、結果として町民が生活排水を適正に処理し、利根川源流域の水質を守ることに繋がるため成果指標とした。  
 汚水処理人口(下水道、農集排、合併浄化槽人口)/総人口  
 下水道処理区域内人口/総人口  
 ※汚水処理人口普及率とは、合併浄化槽を含む汚水処理施設処理人口の町人口に対する割合をいう。  
 ※下水道普及率とは、下水道処理区域内人口の町人口に対する割合をいう。  
 C) 数値が高まれば、町民が生活排水を適正に処理しているといえるため成果指標とした。  
 水洗化人口(下水道接続人口)/下水道処理区域内人口  
 ※水洗化率とは、処理区域内で下水道に接続されている(水洗化されている)人口割合をいう。  
 D) 数値が基準値より低ければ、利根川源流の水質が守られ、生活環境が保全されているといえるため成果指標とした。なお、基準値は利根川(月夜野橋)BOD=2mg/l以下、赤谷川(小袖橋)BOD=1mg/l以下。資料:群馬県環境白書  
 E) 件数が減少すれば、公害が抑制されているといえるため成果指標とした。

**目標値設定の考え方**

A) 過去の指標の推移から、成り行きでは毎年度0.5ポイントずつ上昇と設定(平成23年度は合併浄化槽のエコ補助金により大幅に上昇)。目標としては平成29年度に78%をめざす。既存の地域再生計画でも年間1%の上昇を目標としている。【国平均:87.6%(H23)、県平均:74.3%(H23)、県目標:91.7%(H34)】  
 B) 下水道の普及率は、整備をすれば上昇する。今後、老朽化対策に重点がシフトしていくことを考えると、面的整備への投資を増加させることは困難。過去4年間で率が1%上昇していることから、優先順位を考慮しながら現状の整備を維持し、29年度目標を48%とする。【県平均:50.0%(H23)】  
 C) 過去の推移からすると減少傾向にあり、毎年度0.5ポイントずつ減少すると設定。啓発等を行うことで接続率の上昇させ、平成29年度に85%をめざす。【沼田市:92.5%(H23)】  
 D) 利根川・赤谷川の水質は、検出限界未満の<0.5の維持をめざす。  
 E) 不法投棄による苦情が半数以上を占めるため、土地所有者の高齢化が進むことで農地などの管理が行き届かず不法投棄を誘発しやすい状況が作られるなど、今後増加が懸念される。パトロールや広報等で注意喚起を促し、35件以下をめざす。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	① 公共下水道や農業集落排水への接続や、合併処理浄化槽の設置と適切な維持管理に努める。 ② 地域の生活環境を悪化させないよう、不法投棄の防止や、ペットの適正な飼育のマナーを守るなど、良好な住環境づくりに努める。	① 下水道を健全に運営し、下水道施設の計画的な整備と維持管理、合併処理浄化槽の普及に努める。 ② 犬・猫の保護対策は本来群馬県の業務であることから、事案の発生時には保健所及び動物愛護センターと連携を取りながら町の役割に努める。 ③ 不法投棄対策、公害防止対策など地域の生活環境の維持に努める。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	① 人口は減少傾向であり、集合処理は人口密度が下がると運営が厳しくなる。 ② 汚水処理計画に関して、効率的な整備手法(公共下水道と農集排の接続等)の選定に努める等の制度運用環境となってきた。 ③ これまでは下水道管渠の布設による未普及地区の解消事業が中心であったが、施設の老朽化対策を含めた維持管理事業の割合が増加している。 ④ 平成26年度から下水道料金を見直した。	① 都市計画区域の未接続住民からは、早く接続したい希望と、使用料の値上がりを懸念して、接続したくない希望との両方がある。 ② 水上火葬場の改築・存続について要望がある。

施策	18	生活環境の保全	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①汚水処理人口普及率は、平成25年度75.5%から平成26年度76.0%と0.5ポイント増加した。人口密集地以外での面的整備が難しいなか、合併浄化槽の普及率が上昇しているためと考えられる。なお、排水設備の設置件数は33件となった。合併浄化槽人口普及率は、平成24年度26.9%、平成25年度28.1%、平成26年度28.8%と年々上がっている。この要因は設置費用に対する補助金を交付しているためと考えられる。 ②下水道普及率は町全体の人口比で考えるので、区域内人口の減少などにより数値が変動することがある。平成26年度の下水道普及率は47.3%と平成25年度より0.2ポイント増加した。その要因は面整備に伴う供用開始区域内人口が増加したためと考えられる。 ※下水道処理区域内では、下水道への接続が義務づけられている。(下水道法第10条) ③水洗化率は平成22年度84.3%、平成23年度83.9%と年々減少し、平成24年度は84.5%と上昇したが、平成25年度は83.4%と再度減少し、平成26年度83.5%とほぼ横ばい状態となった。この要因は、人口減少に比例するかたちで水洗化人口が減少したためと考えられる。 ④水質の尺度であるBODは、放流基準が15mg/lのところ、平成26年度平均は1.0mg/lとなっており、水源の町として水質保全の責任を果たしている。 ⑤公害に関する苦情件数の推移は、平成24年度41件、平成25年度38件、平成26年度39件とほぼ横ばいで推移している。不法投棄は平成23年度19件から平成24年度26件と増加したが、平成25年度は16件、平成26年度22件と増減している。不法投棄の禁止を啓発しながら、件数の推移を見守りたい。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①汚水処理普及率は平成25年度75.5%であり、群馬県全体の76.3%よりも0.8ポイント低くなっている。県内市町村の中では20番目／35市町村であり、前年度と同順位となった。近隣の市町村では、沼田市79.6% (16番目)となっている。 ②下水道普及率は平成25年度47.1%であり、群馬県全体の51.1%よりも4.0ポイント低くなっている。県内市町村の中では13番目／35市町村であり、平成24年度と同順位となった。近隣の市町村では、沼田市59.8%となっている。 ③合併浄化槽設置については、群馬県内で平成24年度5,637基となっている。みなかみ町では平成24年度42基、平成25年度53基、平成26年度43基に対して補助金を交付している。 ④下水道処理施設から放流する水質(BOD)は、奥利根水質浄化センターの3.0mg/l(平成25年度事業年報(年間平均値))より出典)に対し、湯宿終末処理場は1.2mg/lとなっており、非常に良好な状態である。この要因は、施設の運営が適切に行われている(ノウハウの蓄積)ため、下水道事業団の研修視察を受け入れている。 ⑤水洗化率は平成26年度83.5%であり、平成25年度83.4%から0.1ポイント上昇した。近隣の市町村では、沼田市が86.3%(平成25年度末)となっている。群馬県平均87.7%(平成25年度末)と比較すると4.3ポイント下回っている。 ⑥公害に関する苦情件数は平成26年度39件であった。平成24年度41件、25年度38件と横ばいで推移している。近隣の市町村では、沼田市が平成24年度45件、平成25年度54件と増加している。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①汚水処理人口普及率は、合併浄化槽の設置基数が年間40基以上で推移していることに加え、下水道整備も並行して実施していることから目標は達成された。 ②下水道普及率は面整備による区域内人口の増加により、人口減少の影響があるものの平成25年度より0.2ポイント増加し目標は達成された。 ③水洗化率は人口の減少傾向が続く中、平成26年度83.5%と平成25年度より0.1ポイント上昇したが目標を下回った。 ④平成24年度の利根川、赤谷川の水質は、0.8/0.7となり目標値を下回った。放流水質は良好な状態で安定しており目標は達成された。 ⑤公害に関する苦情件数は39件で目標値と比較して4件多くなっている。
成果実績に対する取り組みの総括	①公共下水道(月夜野(特環含む)・水上・新治)区域内の管渠布設工事を実施し、整備面積が2.6ha広がった。これにより整備率も0.4ポイント上昇した。 平成25年度69.1%(488.7ha/707.2ha)、平成26年度69.5%(491.3ha/707.2ha) ②合併浄化槽設置補助について、平成26年度設置補助基数は43基となり、汚水処理人口普及率の向上に寄与した。 ③流域関連、特環公共下水道の維持管理事業は、処理施設、ポンプ場の運転管理、管路施設の維持管理を行うことで利根川の水質保全に寄与した。管路整備は、第2-1処理分区(上牧木ノ根地区)、第4-1処理分区(矢瀬公園西)、第5処理分区(後閑反田地区)、小日向、小仁田、川上小分区等を実施した。 ④下水道施設の老朽化対策として、水上中央幹線の管路改築工事を実施し、老朽化対策率(水上中央幹線に限る)を69.5%(454.0m/653.3m)とした。また、猿ヶ京処理区湯宿終末処理場汚泥処理系の長寿命化計画を策定・提出を行い受付となった。 ⑤下水道使用料の統一及び見直しに関する改正下水道条例が平成26年4月1日施行となり、6月調定分から適用となった。 ⑥公害苦情は年々多様化し、近隣住民の人間関係から来るトラブルや空屋や空地等の管理できない物件での不法投棄等も増加しており、未然防止の観点から不法投棄の防止看板の設置やチラシの配布等を実施した。 ⑦平成25年度から26年度にかけて、町内の2つの火葬場と広域圏の火葬場を利用している現状において町有施設も老朽化が進行しているため、今後の町火葬場のあり方の検討を行った。		

		基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	生活排水の適正処理	下水道事業の安定運営のため、水洗化率を向上させ料金収入の確保に努めると共に、経費削減を一層進める必要がある。また、職員減への対応や効率的な維持管理業務を行うため、下水道台帳のデジタル化や下水道施設管理システムの導入が必要である。さらに、施設の老朽化対策を進め、汚水が滞りなく処理されるよう取り組むことが重要である。 公共下水道等の集合処理と合併浄化槽による個別処理の組み合わせにより汚水処理人口普及率を向上させ、環境負荷の削減に取り組むことが必要である。 収納業務の中で未納対策の徹底をする。	整備済み施設の活用観点から水洗化率の向上を図り、使用料収入の確保に努めるとともに下水道事業会計の収支を踏まえた財政健全化を進める。また、施設の老朽化対策を進めると共に、管内調査の結果を踏まえた不明水対策に取り組む等経費の節減を図る。また、施設管理委託について、包括・複数年契約の導入検討を進め、効率的な維持管理、施設管理の質の向上(放流水質、運転管理)に努める。 下水道台帳のデジタル化や下水道施設管理システムの導入する。
	2	公害防止対策の推進	土地所有者の高齢化などにより、管理できない土地が増えているため、不法投棄を誘発しやすい状況が年々増加している。パトロール、広報や清掃活動のイベントにより注意喚起を促しているが新たな対策が必要になっている。 老朽化している町営火葬場の施設設備等について、適切な管理が必要である。	不法投棄の防止はパトロール強化、広報や看板の設置等の対策を実施する。 火葬場施設については、平成26年度の検討に基づき、具体的な取り組みを行う。

18 生活環境の保全

18-01-000001 <b>下水道料金賦課徴収事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 3,940,297円				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 1総務費				項 1総務管理費 目 1一般管理費								
事業概要	手段と実績 納入通知書の発注、口座への振込み依頼、手数料の支払い事務、使用料過誤納付の還付事務、料金システムの使用料按分と支払い事務	対象		下水道使用者、使用料過誤納付者				意図 料金徴収事務の迅速化と使用料の完納また、過誤納付者への返還				
		保守委託料	平成25年度 660	平成26年度 679	単位 千円	下水道水洗化戸数	平成25年度 3,383	平成26年度 3,371	単位 戸	収納率	平成25年度 98	平成26年度 98
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	全体総括	本事業は下水道経営の根幹をなす事業である。受益者負担、公平性の観点から今後とも力点を置き継続して取り組む。			今後の改革改善案 改善策は特にないが、成果を維持してこのまま継続。			課題とその解決策 特になし				

18-01-000002 <b>下水道料金審議会事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 円				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款				項 目								
事業概要	手段と実績 下水道事業運営審議会を開催・運営し、諮問内容(下水道使用料の体系統一及び見直し)に対し、経営状況や料金体系等の現状及び計画期間における収支計画を審議し、諮問に対する答申を受ける。	対象		下水道使用料				意図 下水道事業の経営状況や料金体系等の現状及び計画期間における収支計画を審議し、諮問に対する答申を受ける。				
		審議会開催回数	平成25年度 0	平成26年度 0	単位 回	使用料単価	平成25年度 114	平成26年度 135	単位 円/m <sup>3</sup>	答申	平成25年度 0	平成26年度 0
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	全体総括	下水道事業を取り巻く環境は年々変化しており、一定期間を経過した事業を検証することは必要であると考える。			今後の改革改善案 特になし			課題とその解決策 特になし				

18-01-000003 <b>下水道事業消費税申告納付事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 4,624,400円				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 1総務費				項 1総務管理費 目 1一般管理費								
事業概要	手段と実績 消費税中間申告及び確定申告事務	対象		下水道事業会計にかかった消費税				意図 適正な下水道事業の運営				
		申告回数	平成25年度 2	平成26年度 2	単位 回	中間申告及び確定申告額	平成25年度 3,809	平成26年度 4,624	単位 千円	修正申告回数	平成25年度 0	平成26年度 0
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	全体総括	消費税法に基づく申告納付のため、引き続き行う必要がある。			今後の改革改善案 使用料収入や整備工事等による申告納付額が増減する。			課題とその解決策 特になし				

18 生活環境の保全

18-01-000004				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 0円					
<b>流域下水道連絡協議会参画事業</b>				予算科目 会計 下水道事業特別会計		款 1総務費		項 1総務管理費		目 1一般管理費			
事業概要	手段と実績	幹事会への出席、定例会の調整、負担金の支出、関係庶務		対象	流域関連公共下水道事業			意図	連絡調整により、事業のスムーズな推進が図られる。				
		幹事会の出席回数	平成25年度 平成26年度 単位		処理区内人口	平成25年度 平成26年度 単位	定例会の回数		平成25年度 平成26年度 単位				
			2 2 回		9,852 9,639 人			1 1 回					
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減 維持 増加
		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	向上 維持 低下 ○ × ×					
		流域下水道構成団体間の情報共有や協議の場であり必要な組織であるので、今後も参加し活動をしていく。		今後の改革改善案	事業が継続される限り協議会に加入し、費用負担等の調整、情報交換や流域下水道事業の推進のため今後も必要である。			課題とその解決策	特になし。				

18-01-000005				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 17,000円					
<b>全国町村下水道推進協議会参画事業</b>				予算科目 会計 下水道事業特別会計		款 1総務費		項 1総務管理費		目 1一般管理費			
事業概要	手段と実績	総会・実務研修会への出席		対象	下水道事業担当者			意図	幹事会での連絡調整と研修会参加による情報の取得				
		総会・実務研修会等への出席回数	平成25年度 平成26年度 単位		研修会等参加者	平成25年度 平成26年度 単位	幹事会の回数		平成25年度 平成26年度 単位				
			2 2 回		1 2 人			0 0 回					
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減 維持 増加
		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	向上 維持 低下 ○ × ×					
		小規模自治体である町村間の情報共有や諸問題に関する協議の場であり必要な組織であるので、今後も参加し活動をしていく。		今後の改革改善案	下水道事業を実施している町村は全て加入していることから、本町においても今後も加入し下水道事業を推進していく必要がある。			課題とその解決策	特になし				

18-01-000006				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 97,920円					
<b>日本下水道協会参画事業</b>				予算科目 会計 下水道事業特別会計		款 1総務費		項 1総務管理費		目 1一般管理費			
事業概要	手段と実績	総会・研修会への出席、下水道排水設備工事責任技術者試験申請受理・審査		対象	下水道事業担当者			意図	研修会等への参加による下水道事業の情報収集				
		会議・研修会等への出席回数	平成25年度 平成26年度 単位		研修会等参加者	平成25年度 平成26年度 単位	研修会参加回数		平成25年度 平成26年度 単位				
			3 3 回		2 1 人			1 1 回					
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減 維持 増加
		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	向上 維持 低下 ○ × ×					
		下水道実施自治体間に於ける情報共有や諸問題に関する協議の場であり必要な組織であるので、下水道事業が存続する間は今後も参加を継続する。		今後の改革改善案	下水道事業を実施している団体が加入していることから、本町に於いても今後も加入し情報収集しつつ下水道事業を推進していく必要がある。			課題とその解決策	特になし				

18 生活環境の保全

18-01-000007 <b>公共下水道(月夜野処理分区)建設事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 <b>50,877,175円</b>				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項 1公共下水道費				目 1公共下水道建設事業費				
事業概要	手段と実績 管路計画設計、積算、発注事務、現場監督及び地区説明会の対応、変更設計、竣工検査、精算事務	対象		下水道認可区域内未普及地区及び地区内住民				意図 下水道未普及地区の解消				
		下水道管路布設延長	平成25年度 545	平成26年度 498	単位 m	下水道認可計画区域内人口	平成25年度 3,350	平成26年度 3,350	単位 人	下水道処理区域内人口	平成25年度 4,965	平成26年度 4,937
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 公共水域の水質保全と住環境の向上を目指し普及率の向上に努める。		今後の改革改善案 下水道未接続家屋へのPR活動を行い、普及率を向上させる。また、クイックプロジェクトの採用等コスト削減を図る必要がある。				課題とその解決策 下水道への接続には費用がかかることから、理解を得るためには十分な説明と時間が必要である。			
	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×		コスト 削減 ○ 維持 ○ 増加 ×									

18-01-000008 <b>公共下水道(水上処理分区)建設事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 <b>29,814,510円</b>				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項 1公共下水道費				目 1公共下水道建設事業費				
事業概要	手段と実績 管路計画設計、積算、発注事務、現場監督及び地区説明会の対応、変更設計、竣工検査、精算事務	対象		下水道認可区域内未普及地区及び地区内住民				意図 下水道未普及地区解消				
		下水道管路布設延長	平成25年度 23	平成26年度 647.3	単位 m	下水道認可計画区域内人口	平成25年度 2,540	平成26年度 2,540	単位 人	下水道処理区域内人口	平成25年度 3,213	平成26年度 3,093
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 公共水域の水質保全と住環境の向上を目指し普及率の向上に努める。		今後の改革改善案 下水道未接続家屋へのPR活動を行い普及率を向上させると共にさらなるコスト削減に努める。				課題とその解決策 下水道への接続には費用がかかる事から、理解を得るためには十分な説明と時間が必要である。			
	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×		コスト 削減 ○ 維持 ○ 増加 ×									

18-01-000009 <b>公共下水道(月夜野処理分区)維持管理事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 <b>5,189,986円</b>				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項 1公共下水道費				目 2公共下水道維持管理費				
事業概要	手段と実績 ・中継ポンプ場、マホーポンプの定期点検、維持管理をしている。職員の事務としては、保守管理委託契約事務及び故障等の通報を受け、状況確認し関係者及び委託業者への対応を行う。 委託業者への対応、確認	対象		月夜野処理分区の下水道施設				意図 常に汚水が速やかに流れるようにする。				
		下水道施設数	平成25年度 12	平成26年度 12	単位 回	下水道施設数	平成25年度 3	平成26年度 3	単位 箇所	不具合件数	平成25年度 7	平成26年度 3
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 供用開始後30年が経過し、老朽化しているが現時点では支障なく稼働している。今後は水洗化を促進し、下水道使用料の増加を図るよう努力すると共に、下水道区域外の住民との公平性を保つため、維持管理費を使用料で賄えるよう使用料の見直しも検討しなければならない。		今後の改革改善案 下水道区域内の水洗化を促進し、水洗化率を高める事により使用料の増加を図る。また、下水道区域外の住民との公平性を保つため、下水道使用料の見直しを検討する。維持管理費削減の一環として、維持管理業務委託を包括的民間委託に変えることを検討する。				課題とその解決策 下水道料金の見直しは、住民の理解を得るよう慎重に進めたい。維持管理業務委託を包括的民間委託にするとにより、どの程度維持管理費の削減になるか精査する必要がある。			
	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×		コスト 削減 ○ 維持 ○ 増加 ×									

18 生活環境の保全

18-01-000010 <b>受益者負担金一括納付推進事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		586,040円				
予算科目				会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	1公共下水道費	目	2公共下水道維持管理費		
事業概要	手段と実績	受益者負担金の賦課徴収、一括納付報奨金支払い			対象	公共下水道受益者			意図	5年20回分割納入を基礎として徴収事務を行うが、途中で未納になる受益者もいる。一括納付をすることにより滞納者の減少につながる。			
		一括納入件数(5年分)	平成25年度	平成26年度		単位	受益者	平成25年度		平成26年度	単位	一括納入者の割合	平成25年度
			28	27	件		29	29	人		100	100	%
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下					
		下水道事業開始前に地権者等関係者への説明を行い負担金への理解を得るよう努めている。		今後の改革改善案 現状では、従来どおり現状を維持していく。		課題とその解決策 特になし							

18-01-000011 <b>公共下水道(水上処理分区)維持管理事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		24,506,194円				
予算科目				会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	1公共下水道費	目	2公共下水道維持管理費		
事業概要	手段と実績	中継ポンプ場、マホーホップの定期点検、維持管理をしている。職員事務としては、保守管理委託契約事務及び故障等の通報を受け、状況確認し関係者及び委託業者への対応を行う。			対象	水上処理分区の下水道施設			意図	常に汚水が速やかに流れるようにする。			
		委託業者への対応、確認	平成25年度	平成26年度		単位	下水道施設数	平成25年度		平成26年度	単位	不具合件数	平成25年度
			12	12	回		14	14	箇所		20	20	件
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下					
		供用開始後30年が経過し、老朽化しているが現時点では支障なく稼働している。今後は水洗化を促進し、下水道使用料の増加を図るよう努力すると共に、下水道区域外の住民との公平性を保つため、維持管理費を使用料で賄えるよう使用料の見直しも検討しなければならない。		今後の改革改善案 下水道区域内の水洗化を促進し、水洗化率を高める事により使用料の増加を図る。また、下水道区域外の住民との公平性を保つため、下水道使用料の見直しを検討する。維持管理費削減の一環として、維持管理業務委託を包括的民間委託に変えることを検討する。		課題とその解決策 下水道料金の見直しには、住民の理解を得るよう慎重に進めたい。維持管理業務委託を包括的民間委託にするとにより、どの程度維持管理費の削減になるか精査する必要がある。							

18-01-000012 <b>公共下水道長寿命化事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		39,160,800円				
予算科目				会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	1公共下水道費	目	1公共下水道建設事業費		
事業概要	手段と実績	河川占用申請事務、積算、発注事務、現場監督、変更設計、竣工検査、精算事務			対象	下水道管路施設			意図	事故防止を含めた予防保全的な管理が行える。ライフサイクルコスト縮小が図れる。			
		管渠更生延長(新治)	平成25年度	平成26年度		単位	重要幹線管渠(赤谷湖周辺)	平成25年度		平成26年度	単位	管渠更生延長(赤谷湖周辺)	平成25年度
			0	0	m		1,257	1,257	m		1,264	1,264	m
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下					
		長寿命化計画の策定を進め、同支援制度を活用する中でライフサイクルコストの縮減を図っていく。なお、整備後の経過年数等を勘案した管内調査区域を選定し、計画的な管内等調査や補修等の維持管理に努める必要がある。		今後の改革改善案 長寿命化支援制度の活用によるライフサイクルコストの縮減を行う。資材調査の実施等によりコスト縮減に努める。		課題とその解決策 維持管理履歴資料を整理し施設管理計画を策定する。							

18 生活環境の保全

18-01-000013 <b>公共下水道(猿ヶ京処理区)建設事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 0円				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項目 2特定環境保全公共下水道費				目 1特定環境保全公共下水道建設事業費				
事業概要	手段と実績	公共樹設置工事及び樹引き工事管路計画設計、積算、発注事務、現場監督及び地区説明会の対応、変更設計、竣工検査、清算事務			対象	下水道区域内に居住する町民及びその家屋			意図	当該地域の水環境の保全及び住環境の向上		
		設置箇所数	平成25年度	平成26年度		単位	設置箇所数	平成25年度		平成26年度	単位	下水道普及率
評価結果と今後の方向性 廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携												
全体総括 水環境、住環境の向上を目指し、普及率の向上に努める。 今後の改革改善案 下水道未接続家屋へのPR活動を行い普及率を向上させる。また、さらなるコスト削減に努める必要がある。 課題とその解決策 下水道への接続には費用がかかることから理解を得るのに十分な説明と時間が必要である。												

18-01-000014 <b>公共下水道(猿ヶ京処理区)維持管理事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 36,257,225円				
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項目 2特定環境保全公共下水道費				目 2特定環境保全公共下水道維持管理費				
事業概要	手段と実績	湯宿週末処理場の管理委託事務、マンホール補修工事発注、光熱水費の支払い、修繕料の支払い、処理場等用地借地料の支払い			対象	特定環境保全公共下水道猿ヶ京処理区の下水道施設			意図	常に汚水が速やかに流れ、放流水質の確保による適正な管理が図れるようにする。		
		委託業者への対応、確認	平成25年度	平成26年度		単位	下水道施設数	平成25年度		平成26年度	単位	不具合件数
評価結果と今後の方向性 廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携												
全体総括 施設の老朽化が進み施設補修費が増加傾向にあり計画的な補修を行う必要がある。長寿命化計画の策定を進め、同支援制度を活用する中でライフサイクルコストの縮減を図っていききたい。 今後の改革改善案 下水道区域内の水洗化を促進し、水洗化率を高める事により使用料の増加を図る。維持管理費削減の一環として、維持管理業務委託を包括的民間委託に変えることを検討する。 課題とその解決策 温泉水の分離には関係者の理解が必要である。また、公共用水域の水質悪化も懸念されることから慎重に進める必要がある。維持管理業務委託を包括的民間委託にするとにより、どの程度維持管理費の削減になるか精査する必要がある。												

18-01-000015 <b>湯宿終末処理場改修事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 円				
予算科目 会計 款				項目				目				
事業概要	手段と実績	積算、発注事務、現場監督、変更設計、竣工検査、積算事務			対象	湯宿終末処理場の機械・電気設備			意図	事故防止を含めた予防保全的な管理が行える。ライフサイクルコスト縮小が図れる。		
		調査診断・長寿命化計画の策定件数	平成25年度	平成26年度		単位	汚泥脱水機系設備	平成25年度		平成26年度	単位	機器改築・更新件数
評価結果と今後の方向性 廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携												
全体総括 長寿命化計画に基づき、同支援制度を活用した改築・更新を実施し、ライフラインである下水道機能の停滞が起こらないようライフサイクルコストの縮減を図りながら予防保全的な維持管理を行う。 今後の改革改善案 長寿命化支援制度の活用による改築・更新を行いライフサイクルコストの縮減を図る。既存施設の規模によらず、現場条件に適した経済的な機種、工法選定に努めていく。また、資材調査の実施等によるコスト縮減を図る。 課題とその解決策 対象機器の改築・更新にあたり、流入水量の現状、将来流量の予測、設置環境等を勘案した適正規模の機種選定が必要。情報収集に基づく機種の比較検討作業を行うとともに他処理施設の現地視察を行い湯宿終末処理場に適した機種を選定する。												

18 生活環境の保全

18-01-000016		担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		26,562,000円					
流域下水道建設費負担事業		予算科目	会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	3流域下水道費	目	1流域下水道建設費負担金		
事業概要	手段と実績	建設費負担金の支出幹事会での協議し、定例会で決定される。			対象			流域下水道施設				
	建設費負担金	平成25年度	平成26年度	単位	中継ポンプ場			支払い率				
		42,330	26,562	千円				平成25年度 平成26年度 単位				
					3 3 箇所			100 100 %				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減	維持
	全体総括	本事業を行うことで、流域下水道関連施設の適切な維持管理及び公共用水域の水質保全につながっている。			今後の改革改善案			流域下水道事業として県及び沼田市と連携を図りながらこのまま継続する。本事業は負担金の支出であり、本町のみで事務改善を行うことは困難であるが事業実施主体の県に対して、適切な事業の実施を要望している。			課題とその解決策	
								特になし。			成果 向上 維持 低下	

18-01-000017		担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		122,758,225円					
流域下水道維持管理費負担事業		予算科目	会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	3流域下水道費	目	2流域下水道維持管理費負担金		
事業概要	手段と実績	維持管理費負担金の支出			対象			流域下水道施設				
	維持管理費負担金	平成25年度	平成26年度	単位	施設数			支払い率				
		133,326	122,759	千円				平成25年度 平成26年度 単位				
					3 3 箇所			100 100 %				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減	維持
	全体総括	本事業を行うことで、流域下水道事業の適切な維持管理及び公共用水域の水質保全につながっている。			今後の改革改善案			流域下水道事業として、県及び沼田市と連携を図りながらこのまま継続する。本事業は負担金の支出であり本町のみで事務改善を行うことは困難であるが、事業実施主体である県に対しては適切な施策の実施を要望している。			課題とその解決策	
								特になし。			成果 向上 維持 低下	

18-01-000019		担当組織 生活水道課 下水道グループ			事業費		2,251,493円					
農業集落排水処理施設維持管理事業		予算科目	会計	下水道事業特別会計	款	2下水道事業費	項	4農業集落排水処理施設費	目	1農業集落排水処理施設費		
事業概要	手段と実績	汚水処理場の定期点検、維持管理をしている。職員事務としては、故障等の通報を受け、状況確認し関係者及び委託業者への対応及び保守管理委託契約事務を行う。			対象			藤原下地区農集排水処理区の下水道施設				
	委託業者への対応、確認	平成25年度	平成26年度	単位	下水道施設数			不具合件数				
		12	12	回				平成25年度 平成26年度 単位				
					1 1 箇所			2 2 件				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		× 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減	維持
	全体総括	供用開始後22年が経過しているが現時点では支障なく稼働している。今後は水洗化を促進し、下水道使用料の確保を図ると共に、下水道区域外の住民との公平性を保つため、維持管理費を使用料で賄えるよう使用料の検討をしなければならない。			今後の改革改善案			排水区域内の水洗化を促進し、水洗化率を高める事により使用料の増加を図る。また、下水道区域外の住民との公平性を保つため、下水道使用料の見直しを検討する。今後、維持管理費削減の一環として他事業を含めた維持管理業務委託の包括化を検討する。			課題とその解決策	
								下水道料金の見直しには、住民の理解が必要である。また、公共下水道との関連も含め慎重に検討する必要がある。維持管理業務委託を包括的民間委託にするとにより、どの程度経費の削減につながるか精査する必要がある。			成果 向上 維持 低下	



18 生活環境の保全

18-01-000020 <b>農業集落排水連絡協議会参画事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 23,000円						
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項目 4農業集落排水処理施設費		目 1農業集落排水処理施設費								
事業概要	手段と実績	連絡協議会総会及び研修会への参加		対象	下水道事業担当者及び地区役員			意図	総会による連絡調整と研修会参加による情報の取得					
		総会及び研修会参加	平成25年度 平成26年度 単位		研修会等参加者	平成25年度 平成26年度 単位	総会参加の回数		平成25年度 平成26年度 単位					
		1	1	回	1	1	人	1	1	回				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		農業集落排水事業を実施している地区間に於ける情報共有や諸問題に関する協議の場であり必要な組織であるので、今後も参加し活動をしていく。			今後の改革改善案			農業集落排水事業を実施している地区等が加入していることから、今後に於いても加入し運営管理面の情報収集を行っていく必要がある。			課題とその解決策		特になし

18-01-000021 <b>久保污水处理施設維持管理事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 3,363,357円						
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 2下水道事業費				項目 5污水处理施設費		目 1污水处理施設維持管理費								
事業概要	手段と実績	污水处理場の保守点検、維持管理をしている。職員事務としては、故障等の通報を受け、状況確認し関係者及び委託業者への対応及び保守管理委託契約事務を行う。		対象	藤原久保地区の污水处理施設			意図	常に下水道が速やかに排水・処理され、規定の放流水質を保った状態で公共用水域へ放流する。					
		委託業者への対応、確認	平成25年度 平成26年度 単位		下水道施設数	平成25年度 平成26年度 単位	不具合件数		平成25年度 平成26年度 単位					
		12	12	回	1	1	箇所	0	2	件				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		供用開始後36年が経過し老朽化が著しいが現時点では支障なく稼働している。今後は下水道区域外の住民との公平性を保つため、維持管理費を使用料で賄えるよう使用料の見直しも検討しなければならない。			今後の改革改善案			下水道区域外の住民との公平性を保つため、今後下水道使用料の見直しを検討する必要がある。維持管理費削減の一環として、維持管理業務委託を他施設と統合し包括的民間委託に変えることを検討する。			課題とその解決策		下水道料金の見直しには、移管の経緯を踏まえ慎重に進める必要がある。維持管理業務委託を他施設と統合し包括的民間委託により、どの程度維持管理費の削減になるか精査する必要がある。

18-01-000022 <b>下水道事業企業債償還事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 502,235,417円						
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 3公債費				項目 1公債費		目 1元金								
事業概要	手段と実績	本年度の起債借入額の算定・申請・許可を経て、借入申請、管理台帳の作成。既借入分の起債を計画に基づき償還した。		対象	下水道事業に伴う起債。			意図	起債の残高と、毎年度の償還額を把握し、計画的に償還できるようにする。					
		下水道事業債の借入件数	平成25年度 平成26年度 単位		前期末下水道事業債償還金残高(元金)	平成25年度 平成26年度 単位	当該年度末下水道事業債償還金残高(元金)		平成25年度 平成26年度 単位					
		6	6	件	5,135,745	4,987,803	千円	4,987,803	4,815,335	千円				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		下水道事業に係る起債を適正に管理し償還する事務であるため、廃止や拡充などの方向性はない。また、事業は継続中で今後も借入・償還事務が必要となる。前述の②で挙げた公平性については、見直し余地がある。なお、起債することにより事業の推進はできるが後年度に負担を残すことになる。			今後の改革改善案			①下水道事業の進捗に合わせ、今後も起債の借入及び償還事務をする。 ②事務については概ね適正に行われているが、より簡素化したい。 ③起債の元利償還金の公平性を見直し。			課題とその解決策		①起債することにより事業の推進はできるが、後年度に負担を残すことになる。 ②国や県による申請方式、方法に従って手続きを進めているため、事務の簡素化等の向上については国・県の考え方によるところが大きい。

18 生活環境の保全

18-01-000023 <b>下水道接続率向上事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 円					
予算科目 会計 款				項 目									
事業概要	手段と実績 特になし	対象			下水道供用開始区域内未接続者、家屋所有者			意図			下水道へ接続する		
		無利子貸付基金利用者数	平成25年度	平成26年度	単位	水洗化人口	平成25年度	平成26年度	単位	水洗化率	平成25年度	平成26年度	単位
		1	1	人	8,252	8,131	人	84	84	%			
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 下水道経営の安定には水洗化率の向上は必要不可欠である。無利子貸付事業も活用し下水道への理解を得る活動を今後強化していく必要がある。		今後の改革改善案 供用開始区域内の未接続家屋に対し下水道のPRを進め、本事業も活用する中で水洗化率の向上に努める。		課題とその解決策 現在の経済状況の中で下水道への理解を如何に得て水洗化率の向上に結びつけるか。理解を得るためには十分な説明と時間が必要である。								

18-01-000025 <b>合併処理浄化槽普及推進事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 15,587,200円					
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 2清掃費 目 1清掃総務費									
事業概要	手段と実績 5人槽 26基7人槽 12基 10人槽 5基	対象			供用開始区域以外で、合併浄化槽を設置する住民			意図			公共用水域の水質汚濁を防止し、衛生的な生活環境の向上を目指す。		
		合併処理浄化槽の設置基数	平成25年度	平成26年度	単位	合併処理浄化槽の処理区域人口	平成25年度	平成26年度	単位	当該年度の設置人口	平成25年度	平成26年度	単位
		53	43	基	5,885	5,893	人	220				人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 公共用水域の水質保全と住環境の向上を目指し、汚水処理普及率の向上に努める。		今後の改革改善案 予算的に余裕がないため、従来どおりで特に改革・改善をしない。		課題とその解決策 特になし								

18-01-000026 <b>水洗便所改造資金貸付事業</b>				担当組織 生活水道課 下水道グループ				事業費 299円					
予算科目 会計 下水道事業特別会計 款 1総務費				項 1総務管理費 目 1一般管理費									
事業概要	手段と実績 下水道供用開始区域内の家屋所有者等に対して排水設備工事費用に充てるための資金の貸付を行う。	対象			下水道供用開始区域内の町民、家屋所有者			意図			下水道への接続を易くする。		
		相談対応件数	平成25年度	平成26年度	単位	処理区域内人口	平成25年度	平成26年度	単位	貸付件数	平成25年度	平成26年度	単位
		2	1	件	9,852	9,639	人	1	1	件			
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 下水道経営の安定には水洗化率の向上は必要不可欠である。本事業も活用し下水道への理解を得る活動を今後強化していく必要がある。		今後の改革改善案 供用開始区域内の未接続家屋に対し下水道のPRを進め、本事業も活用する中で水洗化率の向上に努める。		課題とその解決策 現在の経済状況の中で下水道への理解を如何に得て水洗化率の向上に結びつけるか。理解を得るためには十分な説明と時間が必要である。								

18 生活環境の保全

18-02-000001 <b>公害対策事業</b>			担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		652,940円			
予算科目			会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 5環境衛生費			
事業概要	手段と実績	特定施設の騒音振動測定。高速道路・一般道の騒音測定。公害・野焼き発生時の対応(県と連携)光化学オキシダント、PM2.5濃度の観測。新幹線騒音振動測定補助。(県と連携)			対象	町民。			意図	安心して暮らせる町をつくる。		
		公害発生件数	平成25年度	平成26年度		単位	みなかみ町の人口(4月1日住民基本台帳)	平成25年度		平成26年度	単位	公害処理件数
			12	6	件	21,285	20,915	人	12	6	件	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×	
全体総括		大きな公害につながる出来事はなかったが、野焼きの苦情が大半を占める。農業に係る野焼きは、例外的に認められている行為もあることから、相談があっても原因者に規模や風向き等の配慮をお願いすることとなるため、直接的な解決にはなっていない。			今後の改革改善案			野焼きや堆肥の臭気の苦情もあることから、悪臭防止法に基づく臭気指数規制基準もあることを周知する必要がある。			課題とその解決策	
											悪臭防止法の規制は、工場や事業活動に伴って発生する悪臭に限られることから、農業に伴う野焼きなど、現在の状況にあった規制や指導に対して効果を発揮できるとは限らない。	

18-02-000002 <b>犬・猫等衛生対策事業</b>			担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		1,475,098円			
予算科目			会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 5環境衛生費			
事業概要	手段と実績	①飼いの登録事務および狂犬病予防注射事務。②犬・猫の避妊・去勢手術助成事務。③犬猫の死骸収容。④犬猫苦情相談対応。⑤迷い犬の保護。(保健福祉事務所の応援)⑥野良犬の捕獲。(保健福祉事務所の応援)			対象	町内で犬を登録している人			意図	動物飼育上の問題を防止する		
		登録頭数	平成25年度	平成26年度		単位	登録頭数	平成25年度		平成26年度	単位	注射済票交付数
			1,504	1,458	頭	1,504	1,458	頭	1,295	1,270	枚	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 × ○ ×	
全体総括		春の予防注射について、従来の日程を見直し、4日間縮小(全8日)して実施したが、実施率も昨年同実績を確保した。今後も飼いの減少状況により、注射会場を削除する事は可能。また、沼田獣医師会に属する動物病院でも犬の登録・注射ができることをHP、広報により周知している。			今後の改革改善案			・予防注射会場の1箇所削減等から活動量は削減しつつ、注射の実施率を維持する。・予防注射ハガキに死亡した場合の届出連絡を指示し、実態に即した登録数の精査に努める。			課題とその解決策	
											①注射当日の悪天候や飼い主の高齢化等による実施率の低下が懸念されるが、動物病院においても登録や予防注射ができることをHP、広報、回覧等により周知して前年同様の実施率を維持する。②主幹する群馬県の管轄事務所について、沼田から渋川へ移転した後も、祝休日の緊急捕獲や動物保護等へは未対応となる。そのため従来より職員が自宅で保護するなどして急場を凌いでいる事から、保護動物等を安心して一時保管出来る設備の設置が求められる。	

18-02-000003 <b>放射線量低減対策事業</b>			担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		372,160円			
予算科目			会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 5環境衛生費			
事業概要	手段と実績	・町内各地の放射線量測定・食品放射能測定(自己消費)・測定結果取りまとめ及び公表・対策説明会等への参加			対象	・町内における放射性物質に汚染された土地、建物及び工作物			意図	・環境中における空間放射線量の減少		
		町内各地の放射線量測定	平成25年度	平成26年度		単位	除染計画対象区域数	平成25年度		平成26年度	単位	除染実施区域数
			74	74	箇所	0	0	箇所	0	0	箇所	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		× 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 × ○ ×	
全体総括		みなかみ町は平成23年12月28日汚染状況重点調査地域の指定を受けたが、その後空中放射線量が低減し指定する町内の測定地点で全てで0.23マイクローベルト未満となったため平成24年12月27日指定が解除となった。空中放射線量は群馬県が放射線マップ作成のため毎年2回町内の74箇所測定してきたが、放射線量低減のため平成26年度測定地点の見直しを行った。平成27年度から測定地点は15箇所となるので規模が縮小する見込みである。ただし、食品の放射能測定は引き続き実施する。			今後の改革改善案			特になし			課題とその解決策	
											特になし	

18 生活環境の保全

18-02-000004 <b>利根沼田広域圏火葬場斎場費負担事業</b>		担当組織 総務課 環境政策グループ			事業費 5,848,000円		
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 6火葬場管理費			
事業概要	手段と実績	広域圏火葬場斎場費の負担行為※参考 水上地区、新治地区の方が利用した場合には、構成市町村外の利用となり使用料金は異なる。・12歳以上10,000円→30,000円 ・12歳未満 6,000円→20,000円 対象 広域圏「ぬまた聖苑」の利用者、主に月夜野地区住民 町民(月夜野地区)			意図 主に月夜野地区の住民の、公衆衛生その他公共の福祉の向上を図る。 月夜野地区火葬件数		
	負担額	平成25年度	平成26年度	単位	平成25年度	平成26年度	単位
		5,848	5,848	千円	9,906	9,909	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	今後の改革改善案 町営施設の今後の運営を含め、火葬事業を将来的にどのような形とするかの議会を含めて検討中である。火葬受付、手数料収受、墓地台帳等は、町民福祉課で行っているため、ぬまた聖苑を含めた火葬場及び墓地管理事業は、町民福祉課に事業を移す検討した方がいいと思われる。			課題とその解決策 議会を含めて火葬場の方向性を検討しているが、結論が出ていない。町営火葬場の拡張は難しく、特に水上火葬場の老朽化は著しい状況であるため、早めの結論が必要と思われる。		
	全体総括				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		

18-02-000005 <b>水上火葬場管理運営事業</b>		担当組織 総務課 環境政策グループ			事業費 5,122,629円		
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 6火葬場管理費			
事業概要	手段と実績	①火葬場運営に係る事務、火葬炉の保守点検、施設定期点検及び清掃。②町有墓地に使用者変更など運営に係る事務、町有墓地維持管理、墓地に空きが出た場合の抽選など 対象 火葬場利用者 火葬件数			意図 円滑な事業の実施 適切に火葬が行われなかった件数		
	火葬件数	平成25年度	平成26年度	単位	平成25年度	平成26年度	単位
		69	68	件	0	0	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	今後の改革改善案 火葬事業の方向が定まるまでの火葬設備については、最低限度の補修をする。2つの火葬場(水上、新治)の指定管理者制度等を検討し、効率的な運営並びに担当職員業務量の負担軽減を進めたい。また、3年～5年は現状のまま稼働する場合のために、休憩室のトイレの改修(和式→洋式)、屋根の補修は早急に実施したい。			課題とその解決策 火葬件数が少ないため、指定管理等を進めるためには近隣で業務実績のある業者を選定しないと、今までの以上の経費がかかる可能性がある。		
	全体総括				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		

18-02-000006 <b>新治火葬場管理運営事業</b>		担当組織 総務課 環境政策グループ			事業費 5,788,251円		
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 6火葬場管理費			
事業概要	手段と実績	①火葬場運営に係る事務、火葬炉の保守点検、施設定期点検及び清掃。②黒煙対策の第二次工事として再燃焼炉拡張及び自動運転化の工事を行い、対策工事を終了する。 対象 火葬場利用者 火葬件数			意図 円滑な事業の実施 適切に火葬が行われなかった件数		
	火葬件数	平成25年度	平成26年度	単位	平成25年度	平成26年度	単位
		102	115	件	0	0	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	今後の改革改善案 火葬事業の方向が定まるまでの火葬設備については、最低限度の補修をする。2つの火葬場(水上、新治)の指定管理者制度等を検討し、効率的な運営並びに担当職員業務量の負担軽減を進めたい。			課題とその解決策 火葬件数が少ないため、指定管理等を進めるためには近隣で業務実績のある業者を選定しないと、今までの以上の経費がかかる可能性がある。		
	全体総括				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		

18 生活環境の保全

18-02-000007 利根沼田広域斎場等使用料補助金交付事業				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 0円						
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 1保健衛生費				目 6火葬場管理費						
事業概要	手段と実績	火葬執行補助の事務手続き			対象	住民登録が旧水上町、旧新治村地区の人			意図	希望通りの日程で火葬できる。				
		火葬執行補助を行った件数	平成25年度	平成26年度		単位	住民登録が旧水上町地区の方	平成25年度		平成26年度	単位	火葬執行補助を行った件数	平成25年度	平成26年度
		8	0	件			4,669	4,580	人			8	0	件
評価結果と今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		平成26年度は申請がない。平成27年度に水上、新治火葬場火葬場管理運営事業で予算措置し、事業統合した。			今後の改革改善案		27年度事業で事業統合をした。		課題とその解決策		H27年度の事務事業の見直し、水上火葬場事業並びに新治火葬場事業に予算措置したため、この事業は廃止する。		

18-02-000008 埋火葬許可事業				担当組織 町民福祉課 窓口・医療グループ				事業費 円						
予算科目 会計 一般会計 款				項				目						
事業概要	手段と実績	死亡・死産届に基づき埋火葬許可証を発行			対象	死亡・死産者			意図	届出により埋火葬に必要な許可証をスムーズに入手できる				
		発行枚数	平成25年度	平成26年度		単位	死亡・死産者数	平成25年度		平成26年度	単位	発行枚数	平成25年度	平成26年度
		320	334	枚			320	334	人			320	334	枚
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括					今後の改革改善案		宿日直者に分かりやすいように夜間・休日時のマニュアルを見直す。		課題とその解決策		なし。		

18-02-000009 火葬場のあり方検討事業				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 1,884,600円						
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 1保健衛生費				目 6火葬場管理費						
事業概要	手段と実績	みなかみ町水上火葬場・新治火葬場について、今後、将来に渡り効率的かつ適正に管理運営していくため総合的な構想の策定が必要であり、みなかみ町火葬場整備基本構想策定業務を行った。当該構想を厚生常任委員会をはじめ議会に説明、委員会からは新設を視野に候補地の選定作業に取り組みよう指示あり。今後スケジュールを定めてその作業を行う。			対象	町民			意図	円滑な事業の実施				
		火葬件数(みなかみ町全体)	平成25年度	平成26年度		単位	町民(4月1日住民基本台帳)	平成25年度		平成26年度	単位	火葬件数(みなかみ町全体)	平成25年度	平成26年度
		319	328	件			21,285	20,915	人			319	328	件
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		火葬場整備基本構想を厚生常任委員会をはじめ議会に説明。委員会からは新設を視野に候補地の選定作業に取り組みよう指示があったので、タイムスケジュールを示しながら取り組む予定である。しかしながら、広域化又は新設するにあたっては相応の年月を要することから、現状の施設を大事に使用する必要があるので、必要最小限の修繕を行う。			今後の改革改善案				課題とその解決策				

18 生活環境の保全

18-02-000010 <b>不法投棄対策事業</b>		担当組織	総務課 環境政策グループ				事業費	172,508円					
		予算科目	会計	一般会計	款	4衛生費	項	2清掃費	目	1清掃総務費			
事業概要	手段と実績	不法投棄の現地確認及び対応並びにパトロール。不法投棄に関する広報、回覧。産業廃棄物に係る立入調査。環境美化運動の実施及び推進。				対象		みなかみ町内					
		関係機関と連携して問題に取り組んだ件数	平成25年度	平成26年度	単位	みなかみ町の面積	平成25年度	平成26年度	単位	不法投棄をされない・させない町			
		1	5	件	781	781	km <sup>2</sup>	不法投棄に関する問い合わせ件数		平成25年度	平成26年度	単位	
				16	22	件							
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト		削減		維持	増加	
								成果	向上				
								維持		○			×
						低下				×		×	
		不法投棄を行う者の手口が巧妙化し、ほとんどの場合が不法投棄者を特定できず、投棄されたものは町で対応し処理処分している。今までにあまりなかった産業廃棄物（コンクリート殻、建築廃材等）の不法投棄が発生してきた。休耕田畑が荒れ、投棄されやすい状況になっているため、投棄されないよう土地所有者への注意喚起が必要である。				今後の改革改善案 不法投棄されやすい場所のパトロールの実施や広報・回覧により、自らの土地に捨てられないような対策を啓発し、投棄されない環境を整える。		課題とその解決策 高齢化により耕作地が荒れ、不法投棄されやすい場所が増加している。土地所有者自ら草刈や監視をすることができない状況が多くなっていくため、地域による監視ができるような啓発を進めていく。					